

3月度隊集会のお知らせ

テーマ「チャレンジバック」

活動の目標：所属意識の伸ばし、目的を達成した時の充実感を感じさせる

活動の概要： 緑の羽根募金活動を通して、森林保護の大切さを理解します
駿東地区カブ隊が集まり、仲間意識を育てます

実施すること：開閉会セレモニーの体験を通して、けじめあるスカウト活動を行う。
セレモニーで歌う歌を覚える。
進歩かべかけ表を作成し、個々の進歩状況を確認する。
修得課目の考査を行う。
団主催の「緑の羽根募金」に参加する。
地区主催の「カブ合同集会」に参加する

緑の羽根募金（みどりのはねぼきん）

きじつ：へいせい16ねん3がつ20にち（土）

じかん：13：00～14：30

ばしょ：いなりじんじゃ

もちもの

かしゅう、カブブック、チャレンジしょうブック、カブスカウトひゃっか、ひっきょうぐ、サインペン、すいとう、ハンカチ、ちり紙、あまぐ

修得課目 / うさぎ 笑顔2・わたしの仕事 / しか 感謝2・役に立つ /
くま スマート2・奉仕

選択課目 / 市民、友情、手伝い

カブ合同集会（カブごうどうしゅうかい）

きじつ：へいせい16ねん3がつ28にち（日）

じかん：8：15～15：10

ばしょ：桃沢少年自然の家（ももさわしょうねんしぜんのか）

しゅうごう・かいさん：いなりじんじゃ

もちもの

かしゅう、カブブック、チャレンジしょうブック、カブスカウトひゃっか、ひっきょうぐ、サインペン、べんとう、すいとう、しょっき（とん汁用）、うわぐつ、ぼうか、ぐんて、ハンカチ、ちり紙、タオル、ゴミふくろ、スパーのふくろ（雨でぬれたあまぐを入れる）、あまぐ

修得課目 / うさぎ 笑顔2・工作・食事・野外活動 / しか 感謝2・工作・自然観察 /
くま スマート2・工作 / 自然と生活

選択課目 / 動物愛護、自然保護、自然観察官、工作博士

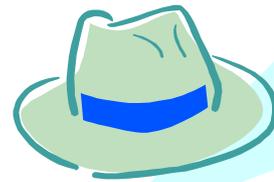
お知らせ

3月28日のカブ合同集会は、桃沢少年自然の家が活動場所になりますので、スカウト送迎のための車の協力をお願いします。（後日、個別に連絡します）

両日共、3月12日までに欠席するスカウトは、荒谷副長に連絡して下さい。

3月28日の活動に、ご家族で参加される場合についても、3月12日までに荒谷副長に連絡をお願いします。（参加者数を報告するため）

3月度「カブ通信」



いつもありがとうございます

スカウトのみなさんへ

2がつのかつどうは、ももさわしょうねんしぜんのいえで、ながいずみちょうのスカウトと、しみずちょうのスカウトがあつまって、ボーイスカウトをつくったひと（ベーデンパウエルさん）のおたんじょうびを、おいわいしました。あめがとちゅうからふってきて、ぜんぶのプログラムにさんかできなかったのが、ざんねんでした。

3がつは、2かいのかつどうをおこないます。1かいめは、「みどりのはねぼきん」です。みなさんのようなスカウトたちが、ぜんこくに20まんにんいます。みんながおなじように「みどりのはねぼきん」かつどうをおこないます。あつまったおかねで、にほんじゅうに、たくさんの「木」をうえます。にほんが、みどりいっぱい「国」になるようにします。2かいめのかつどうは、ながいずみちょうのカブスカウトと、しみずちょうのカブスカウトでかつどうをします。ももさわしょうねんしぜんのいえのせんせいに、「ガラス細工（ざいく）」のつくりかたを、おしえてもらいます。また、「しぜんかんさつ」についてもおしえてもらいます。

それから、たいちょうとあらやふくちょうが、みなさんとおわかれすることになりました。3ねんかんというみじかいじかんでしたが、とてもたのしかったです。たいちょうは、なんだか、みなさんといっしょにかつどうした、「みしま14だん」に、いくことになりました。これからもいっしょにかつどうするきかいをつくろうとおもっています。これからもよろしくおねがいします。

あらやふくちょうは、とうきょうにひっこしすることになりましたので、3がつのかつどうがさいごになります。これまで、いっしょにかつどうできたことにかんしゃしています。スカウトのみなさん、おせわになりました、ほごしゃのみなさん、ありがとうございました。

保護者の皆様へ

カブ隊長として、叱咤激励をいただきながら、活動を進めてまいりましたが、この度、三島第14団に移籍することになりました。この三島第14団は、平成7年に発団した新しい団であります。ここの育成団体が「MOA」であり、私を含め、MOAの関係者で立ち上げた団であります。ここ最近、加盟員数が減少し、休団の危機に陥りました。発団に関わってきた関係上、本格的な団の建て直しに協力しなければならなくなりました。今後は粟田副長を中心にカブ隊の活動を進めてまいりますが、これまでも三島第14団と長泉第2団は、いっしょに活動してきたこともあり、スカウト達も顔なじみであります。これからは時期を見ながら、一緒に活動していく機会を作っていこうと考えています。

荒谷副長につきましては、東京に転勤することになり、引越すことになりました。3年間という短い期間ではありましたが、たくさんの方のことをスカウト達から学び、また皆様のご協力をいただいていたからこそ、活動を続けていくことができました。これからはより一層のご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。

ありがとうございました。

3月と言えば...「卒業式」

「そつぎょうしき」といえば「ほたるのひかり」

そつぎょうしきでは、「ほたるのひかり」ですが、うたのかしに、「なつは、ほたるのひかりで、ふゆはゆきあかりで、しもつをてらしてまで、くろうしてべんきょうした」というのは、ピンとこないものです。

それもそのはずで、このうたのかしは、100年いじょうもまえの、1881年に「とうきょうしはんがっこう」のせんせいによって、ちゅうごくの、「蛍雪の功」ということばを、もとにしてかかれたものなので、ふるくさいのも、しかたがありません。

きょくのほうは、「スコットランドみんよう」とかかれています。おなじリズムのきょくが、1783年に「ロシマ」という、オペラにもでてきます。もちろん、さつきょくしゃは、ウィリアム・シールドは、スコットランド人ではなく、イギリス人なのです。しかし、このはなしにもちがうという人がいて、マンチェスター・ガーディアン紙のきしゃがちょうさしたところ、コルシマ島の、しゅうきょうぎょうじに、うたわれていたので、オペラきょくの「ロシマ」ではないとのこと。すると、そのまえにかかれていた「スコットランドみんよう」といいることができません。



「ほたるのひかり」のかしのひみつ



「ほたるのひかり、まどのゆき」とうたう、「ほたるのひかり」は、うるくから「そつぎょうしき」にうたわれていました。ここにでてくる「ほたるのひかり」とは、ちゅうごく故事(こじ)によるものです。

そのむかし、くがくせいだった「しゃいん」というしょうねんは、あまりにもまずしくて、よる、べんきょうしようとおもっても、あぶらさえかえず、ほたるをたくさんつかまえて、そのひかりで、ほんをよんでべんきょうし、さいごには、えらいせいじかになったという、はなしがありました。

で、そのほたるのひかりで、ほんとうに、ほんがよめるのか?ということでした。ですが、よのなかには、じっさいにほたるをあつめて、じっけんした人がいました。

そのけっか、ほたるを2000びきほどあつめると、「なんとかほんをよめる」という、じょうたいになったらしいのです。しかし、ほたるのてんめつする、ひかりのなかでは、おちついて、ほんはよめなかったとのことでした。

